

実証概要

Demonstration overview

三木市 縁結び課

目指せシナジー！買い物支援サービスと行政サービスを組み合わせた新しいビジネスモデルを構築したい！

課題

- 地方都市では免許を返納すると買い物が困難になり、以前と生活水準を保つことが困難になり、住みたいところに住み続けられない現状となっている

実証内容

- 買い物支援と他の行政サービスを組み合わせて提供することで、民間企業が事業化可能、かつ行政負担を減らすことができる持続可能な仕組みを作る

採択企業

生活協同組合コープこうべ



実績・成果

- 市で実施している「いきいき体操」の場に移動販売車を出してサービスを組み合わせた結果、週1くらいでグループ購入したい、継続的に来てほしいとの声が多く聞かれた
- 移動販売の必要性を図るアンケートの結果、満足度は84%だった

解決する課題

- 地方都市においては、免許を返納すると買い物が困難になるなど、以前と同じ生活水準を保つことが困難となり、住みたいところに住み続けられない現状となっており、人口減少の要因のひとつになっています。
- そこで、未来のまちのコミュニティの創造に向けて、買い物支援と他の行政サービスを組み合わせることで、民間企業が事業化可能、かつ行政負担を減らすことができる持続可能な仕組みをつくり、「住みたいところに住み続けられる」社会を作ることを目指しています。

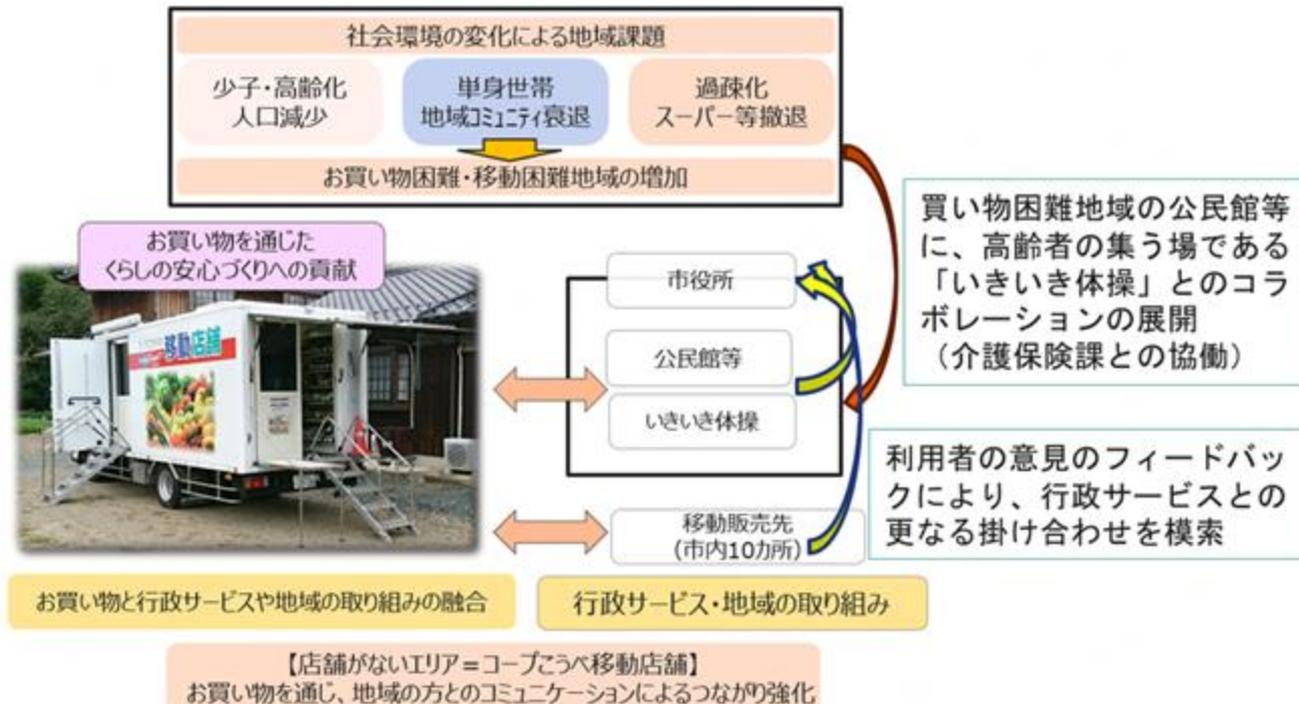
目指す未来

実証事業のみならず、最終的な目標を以下に設定



実証内容

実証実験で全てを実現するのは困難であるため、以下にフォーカスして実証



実証に使用したサービス

移動店舗って？

移動店舗とは、コープのお店の魅力をぎゅっとトラックに詰め込んで近くまでお伺いする移動式の店舗です。
最寄りのお店が遠くて歩くのがつらい、バスに乗るのも一苦労。
一人でお買い物に出かけにくい、そんなお困りごとを解決したくてはじめました。

800品以上の
品揃え！
※「小型トラック」は
400品

毎週、約束した
時間、曜日、
場所で開店！

商品を見ながら
買い物できる！

店舗と同じ商品を
同じ価格で
買える

コーピーポイントが
つきます！



実証実験のようす

12月16日実証のようす



実証事業名

「移動販売車×行政サービスによる相乗効果を！！in みつきい☆いきいき体操」



実証結果

★実証期間における移動販売と行政サービスの組み合わせ数

KPI=3パターン、結果1パターン（未達成だが今後拡大見込み）

※2パターンとなる予定だったが、機材トラブルにより、1件フレイルチェックが未達となった。

3月に新たに「スマホ教室」との組み合わせの実施を予定するなど、順次拡大見込みとなっている。

★移動販売への認知の向上・体験といきいき体操参加者の増

KPI=集客30名、結果36名（いきいき体操）/48名（購買者）（達成）

⇒一定の成果あり

★移動販売の必要性を測る（目標）

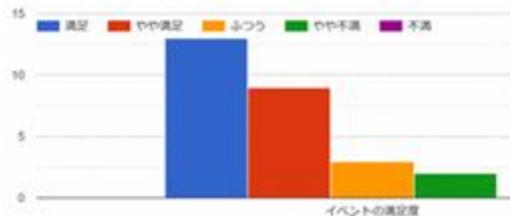
KPI=満足度80%、結果=84%（達成）

⇒「買い物」インフラの必要性がアンケート等により、より浮き彫りになった。

市民（受益者）からの声

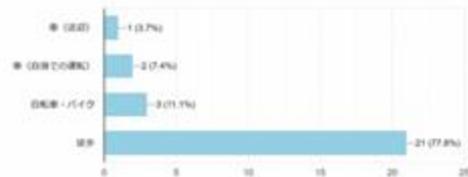
市民アンケートの結果（抜粋）

今回のイベントの満足度を教えてください（単一選択、5段階評価）



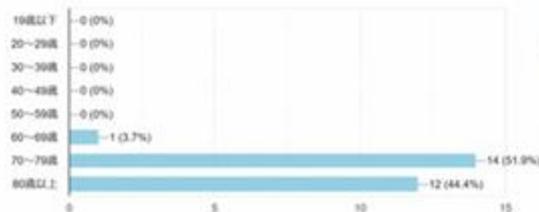
- 平均は4.2点。概ね満足しているとの結果が得られた。

会場までの移動手段について教えてください（複数選択）
27件回答



- 会場への移動手段は徒歩が大平。車は富岡公民館のみ見られた。

年代を教えてください。複数で来られた場合は、代表の方の年齢層の記載をお願いします。
27件の回答



- わずかに60代が居たが、ほとんど70代以上で、80代以上も多数。

今後も移動販売と行政サービスを組み合わせたい場があれば参加したいと思いますか
（単一選択・5段階評価）



- 平均点は4.66点。聞き取りの上では、移動販売へのニーズが高く、今回の体験のように買いができるのはメリット

高い満足度という評価を
いただきました！！



今後の展開

- 移動販売車を多くの地域に走ってもらい、買い物難民をなるべく発生しないようにするには、持続可能な収益も必要であることから、行政としてもサービスとの掛け合わせの他、地域との連携も行政から働きかける必要があると感じており、今後も継続的にサービスの拡充を行っていく。
- 例えば車両やドライバーの確保などの側面支援についても、行政としてできることがないか、模索していきたい。
- 今回は移動販売に限定して買い物支援と行政サービスの実証実験を行ったが、次年度以降は、コープこうべの買い物支援事業全体の中で、どのような行政サービスが実施可能かも模索していきたい。
- 行政と企業が定期的に問題及び課題発見を共に行い、また協議を行うことで、地域課題に応じた協働が可能になると思われる。本実証期間に留まることなく、25年度も継続してお互い（三木市・コープこうべ）の関与部署で定例会議を実施していきたい。
- また三木市と協働の実証事業を通じて、他市町で横展開できるようなスキーム構築を進めていきたい。